

認知症対応型共同生活介護 グループホーム四丁目の家

よんちゅうめ通信

2025年度
7月号

「盛夏の候 皆様ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます・・・」などと季節の挨拶を書いている場合ではないほどの暑さでございます。グループホーム四丁目の家では、「入居者様も職員も、穏やかな笑顔があふれる生活と職場づくり」をスローガンとし、**コミュニケーションのある生活**を送ることを意識しています。

グループホームという場所はとても密接な関わりのある環境のため「穏やかな笑顔があふれる生活と職場づくり」として、制限のある生活の中でも、楽しみがあり、笑顔があり、穏やかな日々が過ごせるようにという思いを込め目標としています。

コロナ禍がひと段落した後も感染症に対しては、日常の有難さを改めて感じるとともに、正しく理解し対策することで、ご家族や地域の皆様など、大切な人との関わりが続けられるように、面会、ボランティアの受け入れや町内会の行事参加を積極的に行っています。

Q、この写真は何をやってるんでしょうか？



A、答えです。この写真は「運動療法」というものです。音楽に合わせ、運動によって身体の症状の改善や予防を図る目的で取り組んでいます。毎回皆さん笑顔で楽しんでいますよ。

地域の皆さんと、共に歩んで20年

《社会福祉法人泉湧く家は、創立20周年を迎えます》

理事長 宮長 定男

「この街に暮らし、この街に生きる。人として当たり前の暮らしができる介護、福祉を！」

この思いを込めて誕生した社会福祉法人「泉湧く家」は、今年11月21日、創立20周年を迎えることになりました。

文京区千石2丁目にお住まいだった伊藤忠雄、富久様ご夫妻のご意思と、多額の寄付により設立出来た法人として、冒頭に書きました「思い」を大切に運営してまいりました。

当初は、私を含めて3人の職員でのスタートでしたが、今では3カ所の認知症グループホーム、2カ所の小規模多機能事業所、保育園1園を運営する法人となり、100名近い職員が働いてくれています。

ここまで事業を続けられたのは、伊藤さんご夫妻の「思い」である「大きな法人にならなくとも良い。地域の皆さんに貢献できる仕事をしてほしい」という教えを守ることが出来たからだと思います。

そして、その実践を様々な形で支援して下さった沢山の地域の皆様がおられたからだと考えています。

あらためて、法人役職員を代表して心からの感謝を申し上げます。

だれもが「健やかに育ち、健やかに老いる」ことのできる社会に向かって！

介護保険制度が出来て25年が過ぎました。また、「認知症基本法」施行されて2年目を迎えました。

しかし、高齢者や障がい者を取り巻く情勢は、ただ安心できる状況にはありません。また、子ども達をめぐる悲しい事件も相次いでいます。

私たちの法人は、利用者の皆さんに提供するサービスが、より豊かで安心できるものになるよう一層の努力をしてまいります。

しかしそれは、法人だけでできるものではありません。これまで以上に地域の皆様と力を合わせて活動することで実現を目指します。

同時に、何よりも利用者の尊厳と人格、発達の可能性を見だし、支援できるよう、法人と職員の力量を高めることにこれまで以上に努力したいと考えています。

そして、私たちが平和の中で生存できる社会を目指して、多くの皆さんと力を合わせてまいります。

法人設立20周年を契機に、皆様のこれまでに増してのご支援をお願いしてご挨拶いたします。

発行
社会福祉法人 泉湧く家
グループホーム
四丁目の家
TEL 03-6912-7949
[http://www.izumiwaku-
ie.jp/yonnvhoume](http://www.izumiwaku-
ie.jp/yonnvhoume)



四丁目の家の外観です。

